

# 真結の会

MAYU NO KAI  
Vol.22

福島市議会 真結の会  
—令和7年4月—



菅原美智子 齋藤正臣 根本雅昭  
川又康彦 穴戸一照 尾形武  
鈴木正実 真田広志 二階堂武文

2025年3月に開場になった新議場は、イギリス議会を模した対面式です。  
会派一同気持ちも新たに、より一層の市政発展のために邁進してまいります。

発行責任者：真田広志  
福島市五老内町3番1号  
TEL▶024-533-7613  
FAX▶024-533-7613  
URL▶https://f-mayu.jp



まゆのかい  
真結の会  
綱領

市民の皆様と真に心を結び、人々が生き生きと、そして心穏やかに暮らせる県都・ふくしま、県境を越えた広域圏域のリーダーにふさわしい中核市・ふくしまの実現を目指す。  
市民の皆様と同じ目線に立ち様々な政策提言をするとともに、厳しい環境に取り巻かれている地方議会の在り方を見つめ直し真に開かれた、期待される議会を目指す。

## MAYU NO KAI TOPICS

### 予算特別委員会の報告

予算特別委員会は3月14日、17日、18日、19日、21日及び24日の6日間にわたり、全体会、分科会を開き、令和7年度一般会計予算を慎重に審査し、認定しました。

一般会計は1千253億円（対前年比76億円増プラス6.5%）、仮置場返還等推進事業費を除く予算額は1千249.9億円で10年連続の増加となる過去最高額の積極型予算となりました。

特別会計は569億円余、企業会計が243億円余、総計で2千66億円余（対前年比75億円増、プラス3.8%）となりました。

第6次福島市総合計画の最終年度となる令和7年度は、計画の将来構想と6つの基本方針を基礎としながら変革と再生により市民生活とまちづくりのグレードアップを図ることができると、積極的に展開を図ることができるとの予算編成です。

## MAYU NO KAI TOPICS

### 3月定例会議の報告

令和7年3月定例会議は3月3日に開会し、令和7年度福島市一般会計予算等の議案46件及び報告1件が提出され、議案は原案通り可決しました。

主な令和6年度福島市一般会計補正予算である議案第17号は、歳入歳出予算及び繰越明許費の補正で、本年5月26日の改正戸籍法施行に伴う戸籍氏名の振り仮名対応に要する経費で、歳入

歳出予算の追加額は2千9百万円余です。また、会議の期間中追加議案6件が提出され、原案通り可決または同意しました。

今定例会議においては、鈴木正実議員が代表質問、菅原美智子、川又康彦、根本雅昭、穴戸一照の4議員が一般質問を行いました。主な質問と答弁は、4面に掲載しています。

## 会長あいさつ

### 市政の課題解決に向け

真田広志

市民の皆様には、「真結の会」の活動に深い御理解と御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、東日本大震災の影響により着工が見送られてきた福島市議会の議事堂及び市民センターが無事完成し、先日記念すべき初めての議会が開催されました。これを契機として更に市民の皆様への負託にこたえるべく、市政諸課題の政策論議を深めながら「市民に開かれた議会」を創って参ります。

震災から14年が経過し東日本大震

災からの復興が着々と進められる一方、能登半島等での巨大地震、局所的な豪雨など激甚化・頻発化する自然災害やロシアのウクライナ侵略などを背景とした物価上昇やサプライチェーンの混乱など、経済情勢の著しい変化が市民生活に大きな影響を及ぼしております。

更に福島市においては、現在進められている福島駅前交流・集客拠点施設整備事業や、メガソーラー発電による環境影響への懸念等々、多岐にわたる重要な課題を抱えております。

私ども「真結の会」は会派一丸となり、それら課題の解消に向け、全力で取り組んで参りますので、一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

# 総務常任委員会 所管事務調査の委員長報告



生産年齢人口減少による労働力不足、社会構造が多様化・専門化する中、業務の効率化や企画力・対応力の向上、ひいては市民サービスの向上に寄与すると期待される生成AIについて、「将来の行政運営への影響」を調査し、市に3つの観点から7項目提言しました。

## ◇内部的な施策展開

- ①職員の利活用のスキルアップを図る
- ②部局横断的な調査研究チームの設置と利活用の効果の検証
- ③使用プラン変更など利活用の柔軟化
- ④行政サービスの質向上のため独自AI機能導入の検討

## ◇外部的な施策展開

- ①様々な行政課題の解決に向けた利活用の推進
- ②広域連携による地域全体の利活用の底上げ

## ◇条例制定による施策展開

- ①市、市民が一体となった施策展開を目指した条例制定の検討

### 文教福祉



委員会の様子

#### ●注目の予算

【教育委員会】学校体育館エアコン整備事業費として、6億円を計上しました。これは、小学校8校、中学校2校の体育館にエアコンを設置するものです。

【健康福祉部】医療的ケア児在宅レスパイト事業費として、360万円を計上しました。これは、自宅での医療的ケア介護等を行い介護負担軽減を図るものです。

【こども未来部】誰でも通園制度実施事業費として、1,107万円余を計上しました。これは、通園していない0歳6か月から満3歳未満のこどもが月一定時間まで通園できるようにするものです。また、放課後児童クラブ利用料助成事業費として4,999

万円余を計上しました。これは、こどもが2人以上いる世帯に対し、第2子以降の利用料や低所得世帯の第1子の放課後児童クラブ利用料を助成するものです。

【教育委員会】教育施設包括管理導入費として、36万円余を計上しました。これは、教育施設の包括管理業務委託の事業者公募を進めるものです。

◎川又康彦／穴戸一照



委員会の様子

#### ●注目の予算

【危機管理室】被災者支援システムの構築費として、1,018万円余を計上しました。これは、民間企業との共同研究により、罹災証明の申請から被災者支援まで一元管理で

きるシステムを構築し、罹災証明書発行事務の迅速化などにより、災害時の早期生活再建につなげるものです。

【政策調整部】ふくしまデジタル・イノベーション・アワード事業費として、50万円を計上しました。これは、市内事業者等のデジタル技術やAIを活用したビジネスの革新及びBPRによる業務効率化等の取組みを表彰し、活性化を図るものです。また、公民連携推進事業費として、250万円を計上しました。これ

は、本市の課題解決や共創の取組の創出を目的に、民間企業などとの連携を受け付ける窓口「公民こねくと」に関して、首都圏企業や若手創業者との交流・連携の拡大のため、都内のシェアオフィスに「ふくしま Tokyo HUB(トウキョウ・ハブ)」を開設し、今後の活動拠点とするものです。

### 総務

◎鈴木正実／二階堂武文  
菅原美智子

福島市議会には下記の4つの常任委員会があり、あらかじめ決められた担当所管について、少人数で集中的に審議を尽くすために設置された委員会です。

## 常任委員会・予算特別委員会分科会の報告

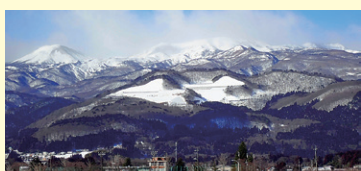
それぞれが所管する事務の調査、議案、請願、陳情などの審査を行っております。なお、□内は、それぞれの常任委員会における当会派の所属議員名です。◎は委員長。

### 建設水道

#### ●注目の予算

【都市政策部】福島駅東口地区市街地再開発事業として、基本設計・実施設計、計画変更認可等として5億8千万円、事業内容の進捗に対しての資金の貸付に5億4千万円を計上しました。これは、飲食やオフィス、駐車場などの民間供給とホールなどの公益施設の戦略的再編により、人が集まる拠点・新たな人の流れをつくることで、商業等の立地や人が集客する好循環を実現し、街なか再生の起爆剤として低下した都市力の回復を目指すものです。

【環境部】「福島市再生可能エネルギー発電施設の適切な設置及び管理に関する条例」を制定しました。これは、公共の利益を守るため太陽光・風力発電施設の設置禁止区域を設定し、禁止区域以外では許可制を導入し許可事業者の適切な管理を義務化するなど、災害の防止、水資源の涵養、景観と歴史文化の保



先達山のメガソーラー(出典：福島市)

全、生息生物の保護、獣害の防止等を図り、本市の豊かな環境を次世代に守り継ぐなどを目的として制定したものです。

尾形武／斎藤正臣

#### ●注目の予算

【市民文化スポーツ部】「古関裕而記念音楽祭2025」の開催事業費として、1,800万円余を計上しました。これは、古関裕而氏の功績や楽曲を継承する音楽祭を開催するものです。また、「エール」放映5周年及び戦後80年を記念した企画を実施します。

【市民文化スポーツ部】若者が市事業等に参加できる仕組み「こくりナビ」を展開します。また、次期ふくしま共創のまちづくり計画策定に向け、ファシリテーター養成研修を実施します。

【商工観光部】ダイバーワークスタイル推進事業費として、118万円余を計上しました。これは、女性活躍や障がい者・高齢者雇用等に取り組む企業を認証するものです。また、男性の育児促進に向けセミナー等を開催します。

【農政部】あぐりっしゅサポート事業費として、1億7,160万円余を計上しました。これは、就農時の初期費用等の一部を助成するものです。また、農業体験や交流会、メンターとのマッチングを促進します。



古関裕而記念音楽祭(出典：福島市)

### 経済民生

◎根本雅昭／真田広志

1月20日  
鹿児島県  
鹿児島市

鹿児島市立天文館図書館

鹿児島市立天文館図書館は、「みんなをつなぐ図書館」〜新しい価値を創造・発信する、多様なつながりを育む図書館〜をコンセプトに、幅広い世代の人々が集い、共に学び成長できる図書館を目指しています。

主な特長としては、公共図書館では初めて画像解析AIによる蔵書点検・セルフ貸出システムを導入し、図書館のデジタルトランスフォーメーション

(DX)を進めています。

さらに、館内にある読書や調べもの、学習、そしてパソコンの持ち込みができる個人席は、1日最大3時間までWebや館内端末で予約することもできます。こういった取り組み等から、年間60万人程度の来館者数を誇っています。

本市においても、市立図書館の検討の際に会派として今回の視察で得た先進事例を提案してまいります。



鹿児島市立天文館図書館

1月21日  
大分県  
竹田市

竹田市城下町交流プラザ・竹田市歴史文化館 由学館

竹田市は阿蘇くじゅう国立公園の山麓にあり、インバウンド観光で賑わう由布院温泉の南に位置します。九州ゴールデンルートに位置する久住高原から歴史的町並み残る豊後岡城の城下町へ誘客し居住人口及び交流人口の減少に歯止めをかけると共に、老朽化した公共施設等の更新と新設を目指し、歩いて回れる城下町再生プロジェクトをスタートしました。城下町に賑わいを創出

して観光の回遊性と利便性を高め、城下町の景観に調和する交流拠点2施設整備の設計プロポーザルにて和の素材を大切に世界的建築家「隈研吾建築事務所」を選定しました。機能・性能が異なる近接する城下町交流プラザと歴史文化館・由学館を同一設計者に任せることで、城下町の空間特性を表現するとともに街づくりのシンボリックな建築とした狙いを伺いました。



竹田市歴史文化館・由学館

1月22日  
大分県  
臼杵市

移住・定住政策

大分県臼杵市は、宝島社の「田舎暮らしの本」に掲載されている「住みたい田舎ベストランキング」の3万人以上5万人未満のまちで8年連続上位となる等、移住・定住に力を入れています。

具体的には、充実した定住促進のための住居支援制度のほか、360度カメラによるバーチャル内覧も可能なVRを導入した空家バンク、移住ツアーやおた

めしハウスによる移住前の臼杵体験、各種補助金による移住支援を行っています。各種補助は、例えば県外から臼杵市に移住する方へは移住支援金として、単身60万円、世帯100万円が支給されます。

本市においても移住・定住政策を推進しておりますが、臼杵市の事例は先進的な取り組みで、会派として今回の視察で得た事例を提案してまいります。



臼杵市議会全員協議会室

当会派が提出した「要望書」が令和7年度の予算案に反映

令和7年度以降において、現在進められている福島駅前交流・集客拠点施設整備事業などの大型事業の本格化などにより投資的経費が高水準で推移し実質交際費比率も急速に跳ね上がる中、これまで以上に収支均衡の堅持を意識しながら、将来に向け健全な財政基盤の確立を図る必要があります。

今後の行財政運営に関しては次世代に過度な負担を残さず、中長期的な視点に立った財政見通しのもと、限られた行財政資源の有効活用を図りながら「事業の選択と集中」により財政収支バランスのとれた健全な財政運営が行われるよう期待し、令和7年度の要望事項を取りまとめ、昨年「会派要望書」を木幡浩福島市長に提出しました。

今回、3月定例会議を経て、会派要望が反映された予算項目(一部抜粋)は右記の通りです。詳細は二次元コードからご覧ください。



1. 出合い、結婚、子育て 若い世代に選ばれるまち		2. 障がい者の自立を目指す支援態勢	
(1)定住するなら福島市へ 夢が描けるまちづくり		相談支援センターの開設(再掲)	60,483
出合いの場創出	5,247	障がい福祉サービスの充実	5,925,614
結婚新生活支援	67,157	ダイバーワークスタイル推進	1,185
わかもの住まい支援	1,200	公立保育所の医療的ケア児の受入	693
空家等対策推進	63,034	(3)元気な高齢者まちづくり	
妊婦のための支援給付、妊婦等包括相談支援	145,403	高齢者の公共交通利用助成	426,986
妊産婦健診	193,298	元気高齢者の介護の仕事への参入支援	770
プレママ・パパ支援	322	4. 文化香る、緑豊かな、住み心地のいいまち	
産後ケア	14,361	(1)文化レベルの向上	
産前・産後サポート	1,805	民家園の活用推進	141,432
こんには赤ちゃん訪問	2,568	旧広瀬座再整備	403,196
保育施設多子世帯負担軽減	147,275	「古閑裕而記念音楽祭2025」の開催	18,000
放課後児童クラブ利用助成	49,992	古閑裕而作曲コンクールの開催	16,500
東京圏わかもの就活応援	360	(2)豊かな自然、魅力ある歴史、文化を未来へ	
(2)教育環境の充実		文化財保存活用地域計画の策定	6,087
福島型オンライン授業	674,054	文化財の保護・保存	2,227
いじめ・不登校対策推進	12,954	文化財調査室整備	15,450
不登校児童生徒の学校復帰支援	14,226	和台遺跡整備基本計画の策定	184
こども家庭センターの運営	38,863	(3)共創の推進と市行政機能の一層の充実	
ユースプレイス自立支援	3,400	こくりナビプロジェクト	293
スクールソーシャルワーカーの派遣	8,898	デジタル人材バンクの運用	250
学校施設リフレッシュ	514,800	3Dデジタル都市計画情報の構築	81,000
学校体育館エアコン整備	600,000	スマート農業実装支援(再掲)	20,000
「非認知能力育成」実証プロジェクト	800	マイナンバーカード取得促進	172,022
指導力向上のサポート	1,602	LINEの活用推進	5,174
(2)活気あふれる、ずっと住み続けたい街		母子保健スマート窓口の推進	8,674
(1)福島らしい中心市街地の活性化		ふくしまデジタル・イノベーション・アワード事業	500
福島駅周辺まちづくり検討推進	619	システムの標準化とガバメントクラウドへの移行	529,617
福島駅東口地区市街地再開発支援	1,120,000	高齢者にもやさしいデジタル化推進	2,346
街なか出店家賃補助	76,900	総合防災情報システム運用	23,131
新規出店のための内外装工事等補助	30,000	電子入札システムの運用	11,380
まちなか立地集積支援	10,000	文書管理システムの運用	24,236
商店街等活性化イベント支援	36,000	ICTによる業務効率化	13,290
街なかテーマパーク開催	10,000	農地調査へ衛星画像解析の導入	3,995
福島駅周辺利便性向上の検討	580	DX人材の育成	220
低未利用地の利活用促進	4,000	窓口DX推進	65,607
ウォーカー推進	40,800	国保税のスマートフォン対応試算サービスの導入	387
(2)災害への万全な体制づくり		(1)子どもを守るための福祉体制の拡充	
避難行動要支援者名簿の更新・個別避難支援プランの作成	23,068	相談支援センターの開設	60,483
地区防災計画策定の推進	4,480	こども発達支援センターの運営	54,824
洪水ハザードマップ活用	12,150	医療的ケア児の在宅支援	3,600
(3)ふくしま田園中枢都市圏域内の連携強化		子育て世帯・ヤングケアラー訪問支援	1,984
連携中枢都市圏の形成による広域的発展	796,809	(仮称)もりあい認定こども園整備	959,200
(4)持続する農林業		心のケア推進	19,225
		特別支援教育の推進	246,918
		ふくしまの農産物魅力アップ	5,207
		「ゆうやけベリー」ブランド化推進	6,300
		スイーツ・プレミアム販売促進	2,272
		福島型給食の推進	555,751
		園芸グローバル産地育成支援	18,807
		福島駅前軽トラ市開催	6,000
		地域でつくる農林業振興基金事業【提案枠】	51,500
		スマート農業実装支援	20,000
		凍み豆腐事業継承推進	2,260
		脱炭素・循環型農業支援	13,932
		気候変動適応型農業支援	10,000
		「納豆のまち福島」ブランド化推進	1,700
		新規就農支援パッケージ	183,835
		農業経営の安定化支援	6,117
		森林経営管理の推進	50,000
		森林再生の推進	97,500
		森林環境学習の推進	8,090
		鳥獣被害対策強化	61,264
		ツキノワグマ被害特別対策	5,193
		(5)県都にふさわしい商工業の振興	
		次世代後継者育成【夢創塾】	252
		創業支援トップセールス	450
		東京圏わかもの就活応援(再掲)	360
		福島市応援関係人口創出	2,788
		シティセールス推進	2,240
		(6)温室効果ガスの削減の推進	
		中小企業ゼロカーボン資金融資	309,800
		農業用再エネ設備導入支援	2,400
		脱炭素・循環型農業支援(再掲)	13,932
		脱炭素住宅整備促進	37,300
		脱炭素生活スタイル普及啓発	660
		水素社会実現の推進	1,770
		公共施設の省エネ改修	816,380
		街路灯・道路照明LED化推進	233,900
		(7)新たな視点による観光の展開	
		四季の里整備	14,746
		温泉地活性化推進	18,000
		あづま山麓ツーリズム推進	9,650
		ふくしま三名湯誘客促進	1,500
		(3)子どもや障がい児(者)、高齢者にも優しい福祉のまち	
		相談支援センターの開設	60,483
		こども発達支援センターの運営	54,824
		医療的ケア児の在宅支援	3,600
		子育て世帯・ヤングケアラー訪問支援	1,984
		(仮称)もりあい認定こども園整備	959,200
		心のケア推進	19,225
		特別支援教育の推進	246,918

# 令和7年3月定例会議代表質問(抜粋)

3月7日(金)、令和7年3月定例会議の代表質問では、  
当会派の鈴木正実議員が代表質問をし、木幡浩市長はじめ担当所管部長等が答弁しました。



▶代表質問を行う鈴木正実議員

福島市における急激な人口減少や出生数減少への取り組み、20〜39歳の若年層の流出、特に女性の流出についてその分析と対策について伺いました。市長は、結婚や出産に希望が持てる社会の機運を市民とともに高めていくことが重要とし、それぞれのライフプランを応援できる社会づくりを進めていくと述べました。さらに、若年女性の流出を留めるためには魅力的な就職先の選択肢を増やすほか、固定観念的な意識を改革し女性が住んで楽しく暮らしやすいと感じられる地域づくりを進めると答弁しました。

そのほか、南矢野目・笹谷地区のイオンタウンの多世代交流拠点施設、福島第一病院開設に伴う周辺道路の渋滞緩和や(仮称)福島北風力発電事業における国有林の開発に同意しないとした福島市の今後の取り組み、事業者への対応などについて伺いました。

円となる見込みとし、地方交付税で措置される有利な市債活用など将来負担の軽減に取り組むと説明しました。

約270〜300億円に膨れ上がった福島市駅前交流・集客拠点施設の取得費について、市債の額と償還期間、年間償還額などを伺いました。当局は、取得費に係る市債200億円余については償還期間20年、年度ごとの償還額は最大で13億

# 令和7年3月定例会議一般質問(抜粋)

今回の3月定例会議において、当会派からは菅原美智子議員・川又康彦議員・根本雅昭議員・根本雅昭議員・

## インバウンド向け案内看板の整備について

DC等の大型イベント開催にあたり、インバウンド向け案内看板の整備など、今後の方針について伺いました。当局(商工観光部長)からは、インバウンド向けの案内看板は市内の主要観光施設でローマ字及び英語で表記されておりますが、温泉地への誘導や交通機関の乗り継ぎがわかりにくいことから、福島駅での誘導方策を検討し、関係機関と協議しながらインバウンドにも配慮したわかりやすい案内環境整備を進めてまいりますと答弁がありました。

## スマート農業実装支援事業について

スマート農業実装支援事業は収益向上が主な目的ですが、今後は儲かる農家育成のため、売価コントロールにも有効な冷蔵設備を補助に加えることについて見解を伺いました。当局(農政部長)からは、通常の冷蔵庫は対象外ですが、IoT冷蔵庫は対象であり、冷蔵設備は販売価格の向上や流通コスト削減等にも有効なため、農業振興基金での提案事業も対象であると答弁がありました。

## 地域公共交通へのダイナミックルーティングの導入について

AIが車両ルートやダイヤを自動計算するダイナミックルーティングを導入することについて伺いました。当局(都市政策部長)からは、定時定路線型では対応できない需要への対応や効率化に繋がることから、需要や効果を見極めながら検討してまいりますと答弁がありました。

## 高齢者に優しいまちづくりについて

センターラインや路側帯の白線が消えている道路が多く、運転支援装置も動作しないと伺いました。当局(建設部長)からは、白線の修繕は令和3年度に作成した個別施設計画に基づき危険性が大きいものから順次修繕していきますが、今年度は既存事業のほか緊急的に維持補修に関する予算を増額し、昨年度で2.4倍となる23km実施しましたが、今後は今年度以上に実施できるよう予算配分に工夫しながら計画的な修繕に努めたいと答弁がありました。



今回の質問の全体内容は、福島市議会ホームページ【<https://www.city.fukushima.fukushima.jp/gi-soumu/shise/shigikai/>】の「議会録画中継」でご覧いただけます。

### 所属議員一覧

会長  
真田 広志



●経済民生常任委員

松浪町1番15号  
TEL 5231-3201

副会長  
二階堂 武文



●副議長  
●総務常任委員

町庭坂字内町51番地の2  
TEL 5911-1138  
<http://nikaidou.net/>

副会長  
鈴木 正実



●総務常任委員長

飯坂町平野字林添1番地の101  
TEL 5431-2118

顧問  
穴戸 一照



●文教福祉常任委員

荒井字上町裏10番地  
TEL 5931-1035

相談役  
尾形 武



●建設水道常任委員  
●監査委員

松川町浅川字大古内9番地  
TEL 5481-7683

幹事長  
川又 康彦



●文教福祉常任委員長  
●議会運営委員  
●議員定数に関する調査特別委員

飯坂町字湯町25番地  
TEL 090-2841-1529  
<http://kawanata-yasuhiko.com/>

政調会長  
斎藤 正臣



●建設水道常任委員  
●議会運営副委員長  
●議員定数に関する調査特別委員長

渡利字七社宮5番地の1  
ヴェルナー七社宮301  
TEL 5211-2342

総務会長  
根本 雅昭



●経済民生常任委員長  
●議員定数に関する調査特別委員

渡利字七社宮39番地の1  
TEL 070-5092-6801  
<https://m-nemoto.com/>

総務会副会長  
菅原 美智子



●総務常任委員  
●議会運営委員

TEL 5531-0711  
<https://mchikopro.jp/>